

「J-Startup CENTRAL(第6期)」の公募開始について

本市が参画する Central Japan Startup Ecosystem Consortium は、中部経済産業局と連携のもと、当地域の前途有望なスタートアップを認定し、政府政策の優遇や経済産業省関連補助金等加点の措置、行政のウェブサイト等での優先的・積極的なPR等により、強力に支援するプロジェクト「J-Startup CENTRAL (第6期)」の公募を開始しました。

1 「J-Startup CENTRAL (第6期)」の公募について

(1) 募集期間

令和8年1月6日(火)～令和8年1月30日(金)

(2) 対象・選定方法

対 象：愛知、岐阜、三重、静岡県内に本社のあるスタートアップ企業（起業後原則20年以内の企業）

選定方法：書類審査（WEBから応募）

(3) 審査基準

- ・ビジョン（明確で共感を得られるようなビジョンを持っていること）
- ・先進性・独創性（先端技術を持つ等の先進性や、独創的な発想などに基づくものか）
- ・成長性（優位性があり、スピード感をもった成長が見込まれること）
- ・国際性（グローバルな活躍が期待されること）
- ・資金調達・売上（資金調達・売上がどれだけでできているか）

(4) 応募方法

以下のWebサイトからご応募下さい。

https://central-startup.jp/blog/news/j-startup-central_6th_app/

(Central Japan Startup Ecosystem Consortium 公式ウェブサイト)

2 その他

- ・選定企業の公表は令和8年3月上旬を予定しています。
- ・令和8年4月上旬ごろに選定企業の交流会を実施予定です。（詳細は後日お知らせします。）

※名古屋経済記者クラブに同日提供

(参 考)

1 「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」の概要

内閣府が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を認定するもので、愛知・名古屋及び浜松地域は、令和2年7月に内閣府から「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に選定されました。令和7年6月には、新たに岐阜県、三重県、静岡県を加えた当地域が「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市 グローバル拠点都市（広域都市圏型）」に選定されました。

2 Central Japan Startup Ecosystem Consortiumについて

- (1) 代 表 者：一般社団法人中部経済連合会 会長 勝野 哲
- (2) 構成組織：一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、愛知県、名古屋市、浜松市、岐阜県、三重県、静岡県を始め 327 企業・団体・大学等

3 「J-Startup CENTRAL」について

グローバル拠点都市の活動の一つとして Central Japan Startup Ecosystem Consortium が実施する、当地域の前途有望なスタートアップを強力に支援するプロジェクト。

令和3年1月に第1期を、令和3年11月に第2期、令和4年11月に第3期、令和6年2月に第4期、令和7年2月に第5期を選定しました。

〈選定企業数〉 43 社（令和7年12月末時点）

- 〈支援内容〉
- ・ J-Startup 全国版との連携
 - ・ 政府政策の優遇措置（霞ヶ関のすべての政府調達案件に入札が可能、Facebook でのプレスリリースの投稿やピッチ機会の提供等）
 - ・ 経済産業省関連補助金等加点措置（成長型中小企業等研究開発支援事業〈Go-Tech 事業〉、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金等）
 - ・ サポーター制度による企業連携強化
 - ・ 行政・支援機関等によるビジネスマッチング支援
 - ・ ウェブサイト等での優先的・積極的プロモーション
 - ・ 「J-Startup CENTRAL」ロゴの使用

※支援内容は随時追加予定

